個人投資家向け
会社説明会

2024年2月22日

蝶理株式会社

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、本資料のセミナー開催日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。本資料において当社の将来の内容・業績を保証するものではありません。

自己紹介

略 歴

1980年　4月：当社入社
1996年 10月：当社化成品第１部第４課統轄
2001年 10月：当社電子機器材ＢＵゼネラルマネージャー
2009年　4月：蝶理（中国）商業有限公司副総経理
2010年　6月：当社執行役員
化学品・機械・電子機器材副本部長（中国事業）
2013年　6月：当社取締役　執行役員
化学品・機械・電子機器材副本部長
2014年　6月：当社取締役　執行役員
化学品・機械・電子機器材本部長
2015年　1月：当社代表取締役社長（現任）

趣 味

- 体を鍛えること（毎朝の散歩・トレーニングは欠かせません）
- 大学時代はヨット部に所属

座右の銘

心が変われば行動が変わる。
習慣が変われば人格が変わる。
運命が変われば人生が変わる。

行動が変われば習慣が変わる。
人格が変われば運命が変わる。

目次

1 会社情報 ..... P. 3

2 事業内容と強み ..... P. 8

3 成長戦略 中期経営計画「Chori Innovation Plan 2025」 P.26

4 株主還元 P.42

5 参考資料 P.45

1

会社情報

会社概要

商　　号	蝶理株式会社 （CHORI CO., LTD.）
本　　店	大阪本社：大阪府大阪市中央区淡路町一丁目7番3号 東京本社：東京都港区港南二丁目15番3号 品川インターシティC棟
資 本 金	68億円
設　　立	1948年9月2日 **創業1861年**
決 算 日	3月31日
上場市場	東証プライム市場
証券コード	8014
単 元 株	100株

大阪本社

東京本社

企業理念・コーポレートスローガン

企業理念

私たちは地球人の一員として、公正・誠実に誇りを持って行動し、
顧客満足度の高いサービスを提供し続け、より良い社会の実現に貢献します。

コーポレートスローガン

あなたの夢に挑戦します。

データで見る蝶理

	売上高	税金等調整前当期純利益	総資産
2023年3月期 連結実績	3,294億円	128億円	1,432億円
2024年3月期 連結予想	3,100億円	140億円	

従業員数（2023年9月末現在）

1,311名（連結）

海外拠点数（2023年9月末現在）

30拠点

沿革

初代社長　大橋理一郎

1861年（文久元年）創業……江戸時代末期

2021年
創業から160年

1868年明治維新
大正
昭和
平成
令和

蝶理⇒160年以上の歴史を有する企業

「蝶理」の由来

生糸（繭）を生みだす蛾を「蝶」と言い換え、
創業家大橋一族の当主「”理”一郎」の名前から
「蝶理」としました。

2

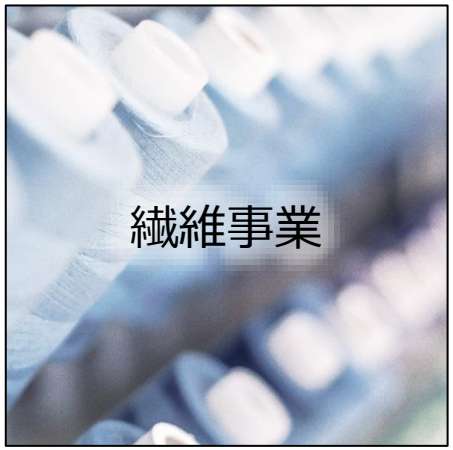
事業内容と強み

蝶理の事業内容

「複合型専門商社」です

イメージキャラクター
CHORIくん

蝶理の事業
＝ 高い専門性 × 強固なネットワーク



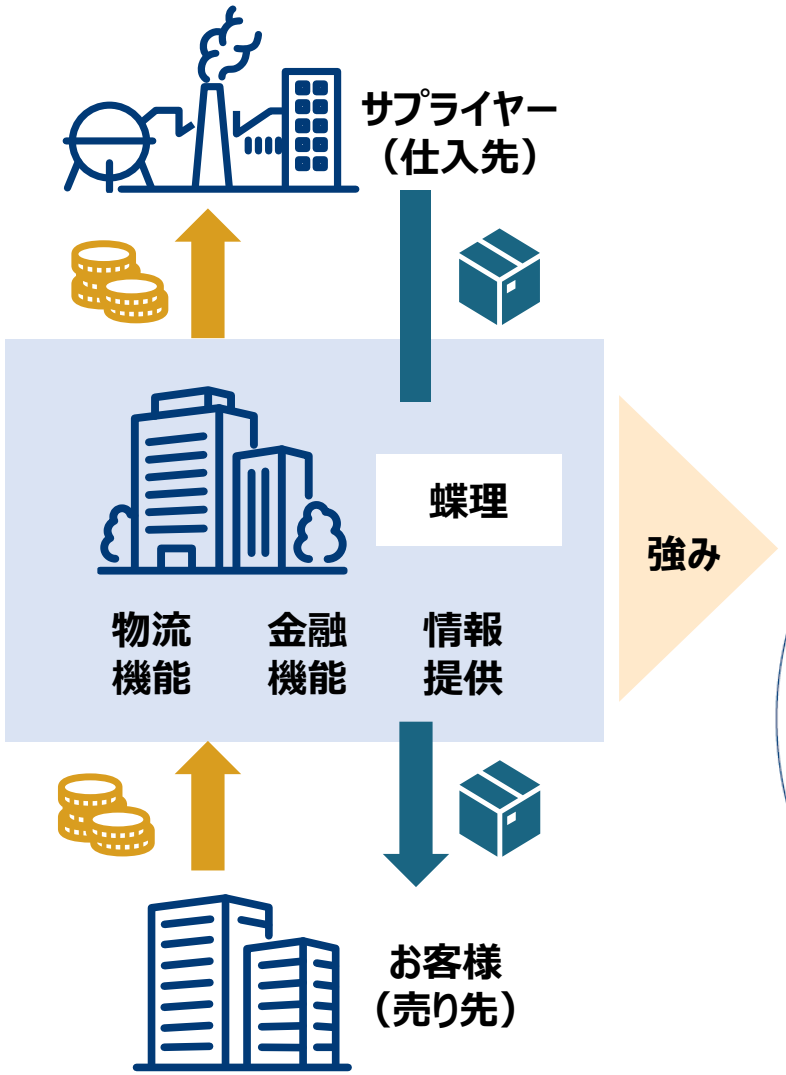
1861年創業以来の中核事業

特異な原料・分野・市場でビジネスモデルを創出

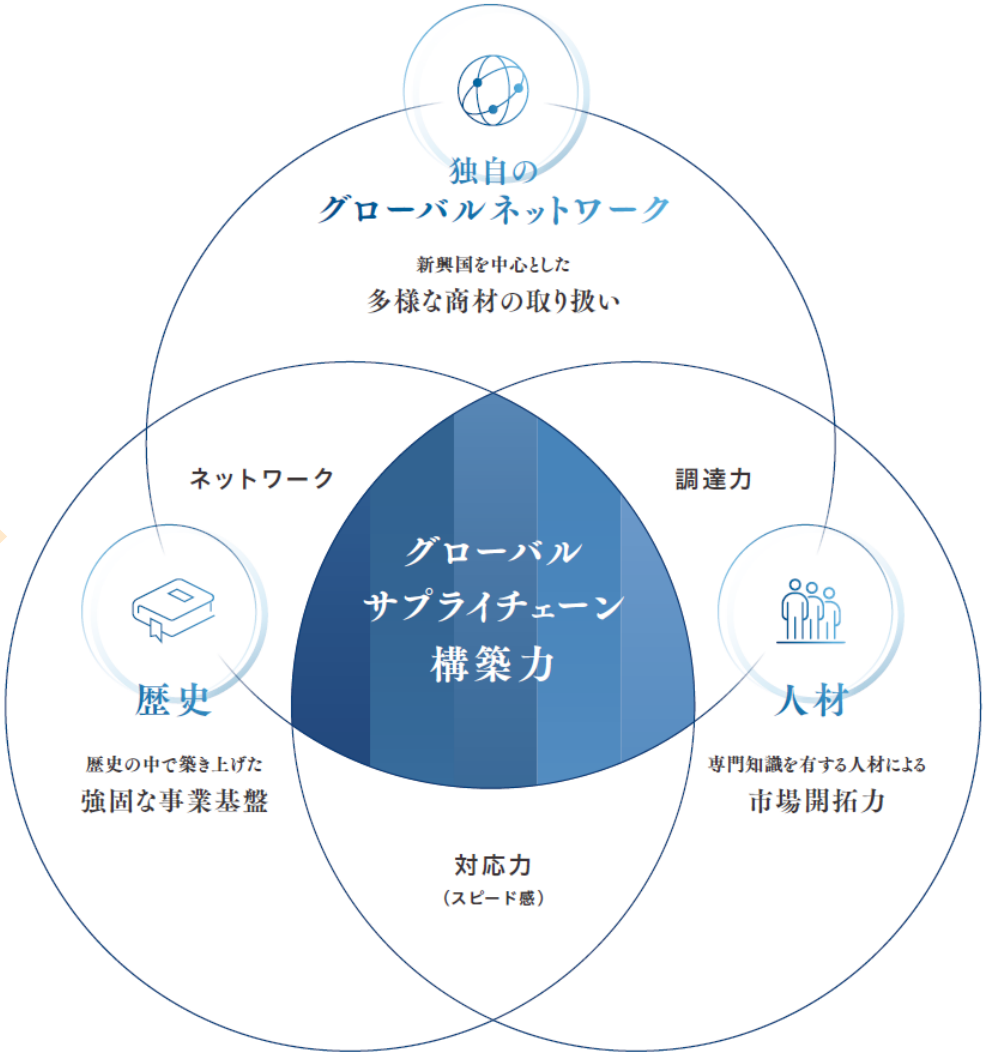
グローバルネットワークを活かした事業を展開

複合型専門商社としての役割・蝶理の強み

繊維・化学品・機械事業に特化し、**グローバルネットワーク**や**市場開拓力**を武器にニーズに応える



強み



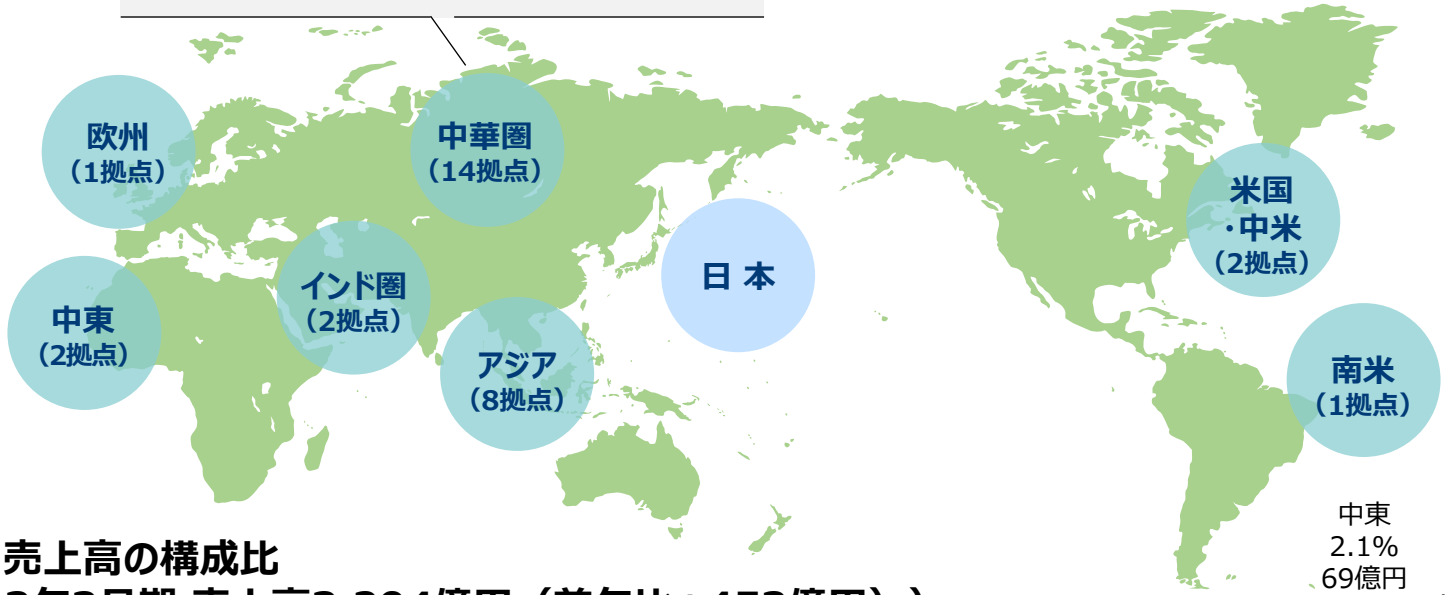
強み１．独自のグローバルネットワーク

中国・アジアを中心に**海外30拠点、連結従業員1,311名**を有するネットワークを構築

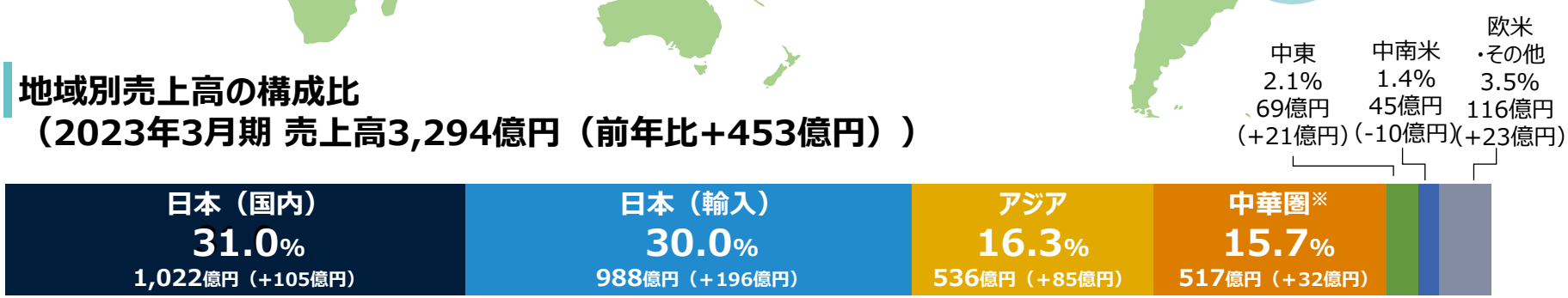
海外拠点網の拡充

1961年　日中友好商社第一号の指定
1978年　日中平和友好条約締結
1980年　北京事務所設置

計30拠点（現地法人　18拠点、事務所他　12拠点）



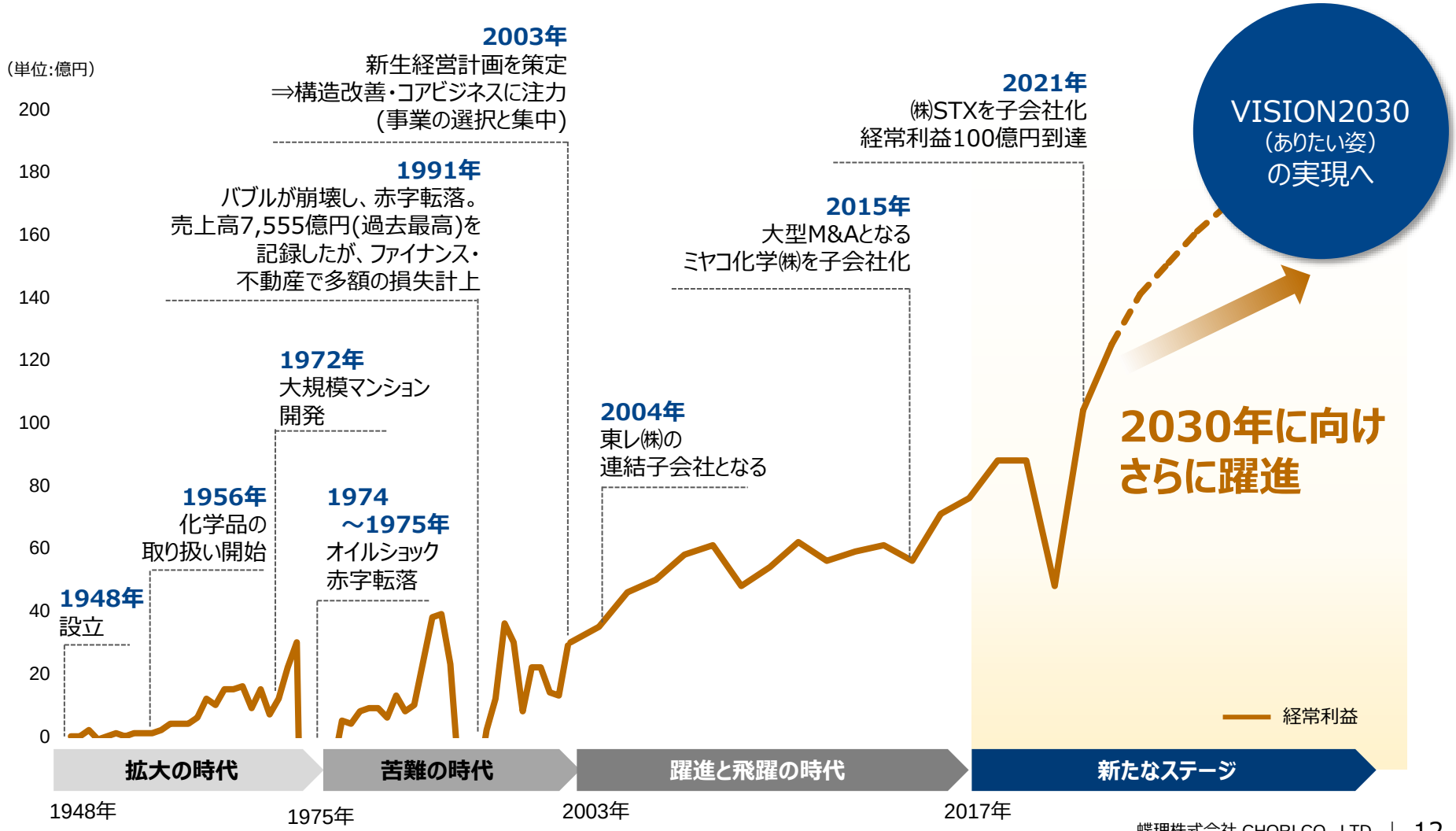
地域別売上高の構成比
（2023年3月期 売上高3,294億円（前年比+453億円））



※中華圏：中国、台湾、香港

強み２．歴史

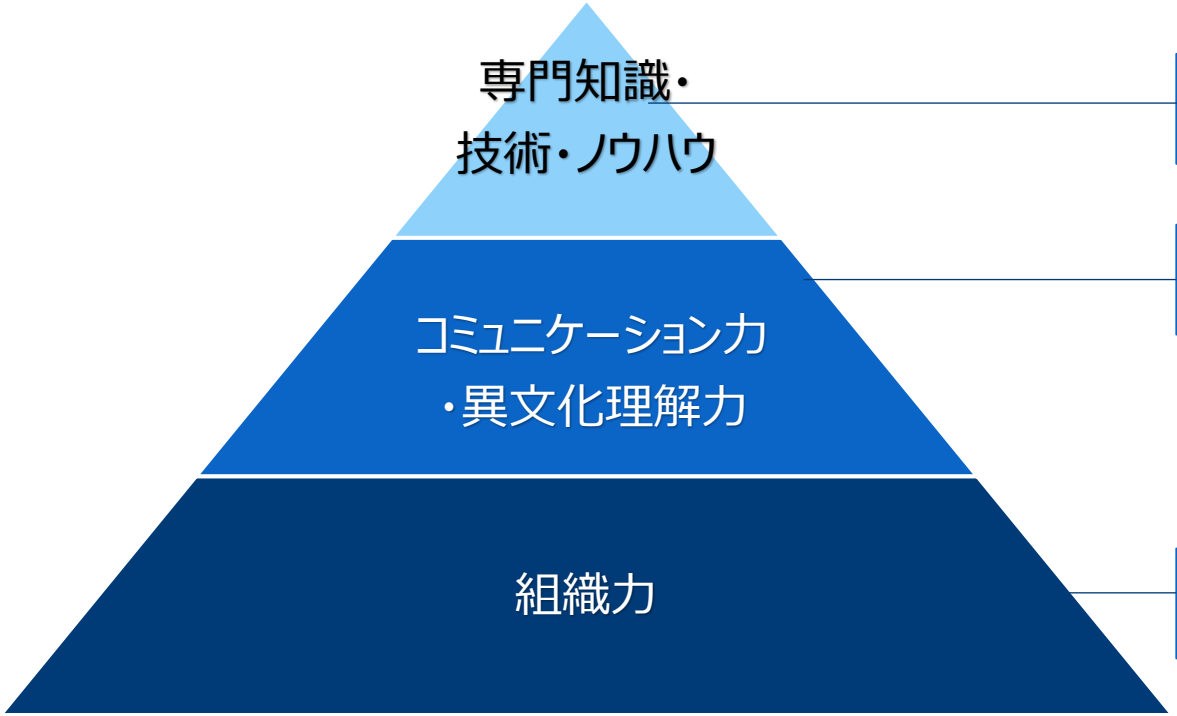
- 2003年に新生経営計画を策定以降、堅実な経営
- 繊維事業・化学品事業を軸にバランスの取れた事業ポートフォリオを構築し、グローバルに事業を展開



強み３．人材

繊維・化学品・機械事業に関する専門的な知見を有し、**多様性に富んだ人材**が国内外で活躍。
また、個の力をベースに**組織的に対応**し、様々な課題の解決（顧客ニーズ）に取り組む。

顧客や取引先等と強い信頼関係を構築



繊維・化学品・機械事業に関する
専門的知見

語学力・人間力の研鑽
トレーニー制度の活用

国内外の拠点との連携・共有
（グローバル連結事業軸運営の推進）

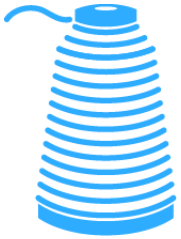
繊維事業（特長）

CHORI

繊維事業

**原料を扱う「川上」から
テキスタイルや資材を扱う「川中」、
最終製品を取扱う「川下」まで、
トータルに事業を展開**

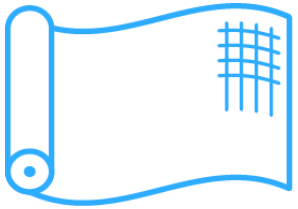
繊維事業の特長



川上分野

繊維原料
（原綿・原糸）

▶



川中分野

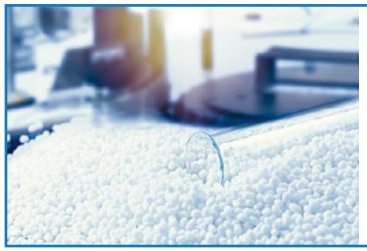
テキスタイル・資材
（織物・編物等）

▶

川下分野

アパレル製品
（衣料品）

蝶理の事業内容　繊維



繊維原料部

＜取扱商材＞
合繊原料・ポリエステル糸・ナイロン糸
＜特徴＞
国内外の衣料・資材用途として展開

車輌資材部

＜取扱商材＞
車輌資材向け原料や、カーシート用表皮
＜特徴＞
国内マーケットシェア率No.1

資材部

＜取扱商材＞
衛材・生活資材・建材・自動車部材
＜特徴＞
高機能不織布を用いた製品を取扱

テキスタイル部

＜取扱商材＞
スポーツウェア・中東民族衣装向け生地等
＜特徴＞
素材提案から製品提案まで行う

ワークスタイル部

＜取扱商材＞
スーツ・ユニフォーム・メディカルウェア
＜特徴＞
上記商材の企画・製造業務を展開

アパレル部

＜取扱商材＞
レディースファッション・メンズファッション
＜特徴＞
企画から物流まで、一貫したグローバルSCM

パフォーマンスウェア部

＜取扱商材＞
スポーツウェア・インナーウェア
＜特徴＞
スポーツウェアはゴルフ用、アスレチック用が中心

繊維事業の強み・・・北陸産地・グローバルネットワーク

北陸産地との協業（高い技術力の背景）

仮撚り機 糸の巻取り工程

■概要
繊維産地として400年の歴史を持つ北陸地域（福井県、石川県、富山県）には、糸加工、織物、染色等の技術で世界をリードするジャパンクオリティを持った企業が集積。ダウンウェア生地は、ヨーロッパのトップブランドでも数多く採用。

■背景
蝶理は、1934年現北陸支店を開設し、北陸産地の企業と繊維事業で協業。「北陸蝶理会」や「北陸ヤーンフェア」の開催などを通じた強い結び付きがある。

海外生産拠点を活かした、OEM事業展開

■概要
中国・ASEAN諸国などの生産・加工拠点を活かし、製造～物流一貫型OEM事業を展開。グローバル適地調達・適地生産・適地販売のネットワークを構築。2021年6月に子会社化した㈱STXが有する高品質の製品を提供するベトナム自社工場を活用し、高い顧客満足度を実現。

■背景
ベトナム・フィリピンなどのASEAN諸国は、中国に代わる生産拠点として各国が注目。地政学的リスクに備え、中国・ASEAN諸国の特徴を活かしたサプライチェーンを構築。

繊維事業のSDGs商材①

サステナビリティコンセプト：BLUE CHAIN®（ブルーチェーン）

・「繊維産業の川上から川下の各段階におけるサステナビリティに対応した取り組み」
　サプライチェーンのサステナビリティ全体最適化を実現する蝶理独自のプロジェクト。

・取引先企業と協働し、環境に配慮した糸・生地・製品での取組みを拡大。

blue chain®
SUSTAINABILITY
COMES FROM THE WHOLE SUPPLYCHAIN.

BLUE CHAIN®の取り組み

ECO BLUE®

回収ペットボトルから生まれた、リサイクルポリエステル糸

蝶理の環境配慮型商材の主力商品。回収した使用済ペットボトルを洗浄・粉砕し、新たな繊維に再生し、貴重な資源を循環。長繊維から短繊維まで200種類以上の取り扱いが可能。国内外の生産背景から提供する蝶理独自の高機能素材とECO BLUE®を組み合わせ、リサイクルだけではない価値のある糸を生み出せることが強み。

ecoblue®
RECYCLED POLYESTER FIBER

ECO BLUE®×WS

環境配慮型ポリエステル繊維

小松マテーレ㈱が開発した速染糸「WS」は、糸作りの工程を変えることで染色時間を大幅に短縮し、染色段階でのCO^2を約30%削減。ECO BLUE®との組み合わせで、CO^2をダブルで削減。

環境にやさしい素材 WS™
komatsumateRe

繊維事業のSDGs商材②

BLUE CHAIN®の取り組み

TEXBRID®

形状回復性に優れた高伸縮機能糸

バネ状の分子構造により「伸びて戻る」性質をもつ、高伸縮機能糸。体を締め付けることなく自然にフィットし、快適な着心地を実現。

SPX®

北陸産地の伝統的糸加工

北陸産地の伝統技術により生まれた、通常のポリエステル糸では出せない軽量性・ふくらみ感をもたせることができる高性能なストレッチ糸。ファッションからスポーツまで幅広い場面で使用。

B-LOOP™

繊維製品の循環型スキーム

ポリエステル素材をポリエステル糸に再生し、衣服や資材など様々な用途へ循環。糸への再生が難しい素材は、反毛後に自動車の吸音材や水害防止用の河川敷マットなどへ再利用。

BLUENY™

サステナブルナイロン

「BLUENY™」はナイロン素材のサステナブルな価値を提供。繊維くず由来の「BLUENY LOOP」、回収漁網由来の「BLUENY OCEAN」、植物由来の「BLUENY SAVE」の3シリーズを展開。

Anewdown

リサイクルダウン

不要になった羽毛布団から羽毛を取り出し、洗浄したリサイクルダウン。不純物を徹底的に除去する高い技術力と超軟水の洗浄力により清潔さを追求した商材。

ECOSOL™

原糸ポリエステル糸

糸をつくる段階で色をつける（先染め）ため、後染め工程での染料が不要。生地で染色する場合と比較し、水使用量やCO2排出量を削減した素材。

化学品事業（特長）

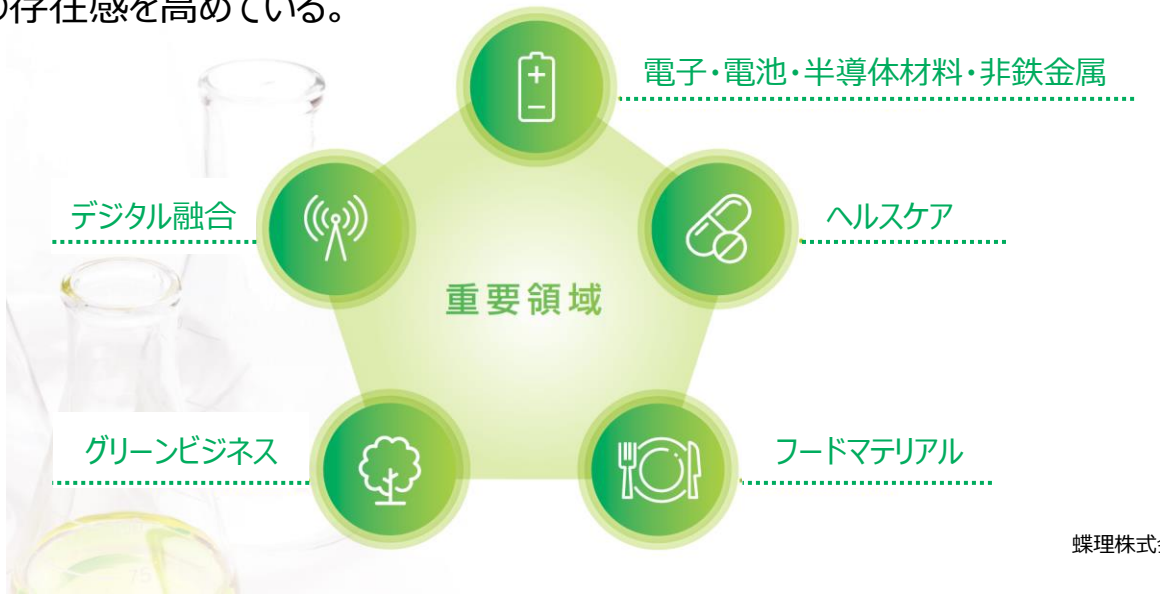
CHORI

化学品事業

特異な原料・分野・市場で ビジネスモデルを創出

化学品事業の特長

グローバルネットワークを活かしながらニッチなニーズに応えることで他社との差別化を進め、市場での存在感を高めている。



蝶理の事業内容　化学品

パフォーマンスケミカル部

＜取扱商材＞
ウレタン原料・樹脂関連等
＜特徴＞
海外の総合化学メーカー等に展開

無機ファイン部

＜取扱商材＞
無機化学品・ガラス原料・非鉄金属等
＜特徴＞
国内大手ガラスメーカー等に展開

化工原料部

＜取扱商材＞
電子部品関連・リン酸
＜特徴＞
大手電子部品メーカー等に展開

ファインケミカル部

＜取扱商材＞
医農薬中間体、機能性中間体
＜特徴＞
医農薬メーカー、半導体材料メーカー等に展開

ライフサイエンス部

＜取扱商材＞
食品添加物、飼料添加物、健康食品素材等
＜特徴＞
「食」に関する事業を展開

化学品事業の強み・・・高い専門性を活かした提案型ビジネス

グローバルネットワークを活かした幅広いラインナップ

- 1956年に化学品の取り扱いを開始して以来、化学品事業は60年以上の実績を蓄積。
- 中国国内での調達・販売だけでなく、ASEAN諸国、インド、中東等との輸出入・仲介取引といった三国間貿易に注力。
- 多様な国々との取り組みを強化し、地政学リスクに対応。

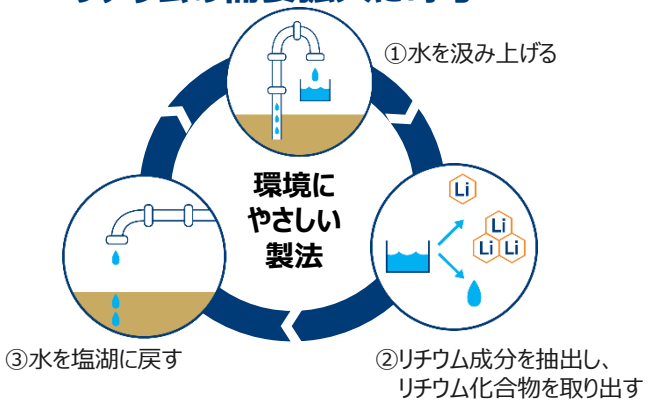
スピード感ある細やかな営業

- 若手社員に実践的な現場経験を積ませ、専門知識や営業ノウハウを継承。
- メーカー主導のプロダクトアウトから顧客に寄りそうマーケットインのビジネスモデルを推進し、最適な商材を提供。
- サプライチェーンの変化にあたり、蝶理が選ばれる機会が増加。商材等を充実し、対応。

化学品事業のSDGs商材①

チリ・リチウム化合物製造プロジェクト参画

リチウムの需要拡大に寄与



パイロットプラント稼働

新型コロナウイルスで計画が遅れていたが、2022年11月よりパイロットプラントが稼働。2026年内にリチウム塩類ベースで年2万トンの生産することを目指し、高純度品を安定供給できる体制を整えていく方針。

生分解性樹脂

育苗シート

- 土壌水分の蒸発抑制
- 雑草・害虫抑制
- 乾燥防止
- 病気予防

生分解性樹脂

微生物の働きによって最終的には水と二酸化炭素に分解されるため、回収不要で、農業効率化に貢献。

北京藍晶微生物（中国）と戦略提携契約締結

Bluepha 藍晶微生物

清華大学と北京大学出身の研究者が創業した、最先端のバイオテクノロジーを有する北京藍晶微生物と、2022年に戦略提携契約を締結。蝶理は、同社製の海洋生分解性ポリマーの日本での市場開拓に取り組む。

化学品事業のSDGs商材②

新たなタンパク源の普及

- 世界人口は2050年には100億人に達し、2030年にはタンパク質危機が起こると推測。
- 新たなタンパク源として、大豆・小麦・エンドウ豆等から作られたプラントベースフード(植物由来代替肉)の普及に取り組む。non-GMO（非遺伝子組み換え）対応で、品質・安全性の高い原料を海外から調達し、日本人に合った味付け等と合わせて提案。
- ひまわりプロテインやコオロギパウダー等、蝶理グループ全体として新たなタンパク源の普及を目指す。

取り組みの狙い

今後予想される食糧不足への対応や家畜生産に伴う森林伐採、大量の水・穀物消費等を軽減することで、環境問題の課題解決を目指す。

Q 食肉問題と環境問題の関係とは？

大量の水・穀物・エネルギー、大規模な土地等が必要となり、少量の動物性たんぱくを生産するために餌となる大量の穀物等を消費。また、飼料用の畑を作るため森林伐採もされている。

機械事業（特長）

CHORI

機械事業

グローバルネットワークを活かして、事業を展開

機械事業の特長

2017年4月、事業の機動性向上を目的に、蝶理マシナリー（株）として分社化。新興国を中心に、四輪車・三輪車・二輪車・トラックなど輸送機器のほか、農業用機械、建設機械などを中南米、欧州、中東・アフリカ、ASEAN向けに取引を展開。

取り扱い商材例

四輪車

三輪車

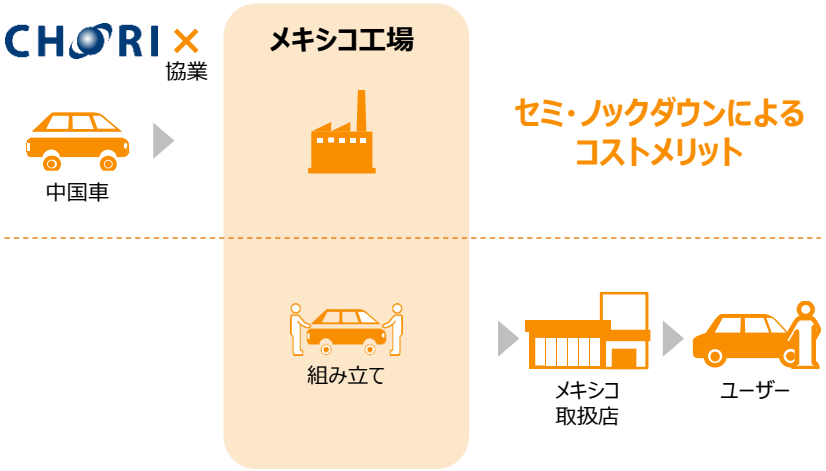
二輪車

農業用機械

機械事業の注力プロジェクト

1 メキシコにおけるセミ・ノックダウン生産

メキシコのパートナー企業と協業し、中国車をセミ・ノックダウン方式で生産・販売。セミ・ノックダウン方式は、完成車ではなく車輌を構成する部品やコンポーネントを仕向国へ輸送し、その輸送先で組み立てる取り組み。輸入関税メリットだけでなく、仕向国において雇用を創出するなど様々な経済効果を生み、組立作業のほか、販売代理店やアフターサービスにおいても、現地の雇用を創出。今後も、同国の基幹産業である自動車産業を軸に商機拡大に挑む。



2 イタリア発の欧州戦略車

イタリアのパートナー企業と協働し、イタリアやスペイン等欧州各地向けビジネスを展開。パートナーが開発するスタイリッシュでエコフレンドリーな車輌が、現地若者に支持されたことから、市場で受け入れられ、好調に拡販。
まずは130万台の市場規模を有するイタリアでプレゼンスを確立。欧州でのビジネスに留まらず、アジア、中南米向けビジネスの検討も始まり、パートナー企業と共に挑戦が継続。

3

成長戦略

「Chori Innovation Plan 2025」（2024年3月期-2026年3月期）

VISION2030 ありたい姿

CHORI

Sustainable

サステナブルで
豊かな社会を実現し、
社会と共生できる企業

Well-being

ステークホルダーの
ウェルビーイングを実現し、
働き甲斐を感じ、
幸せになれる企業

VISION2030
ありたい姿

Innovation

継続的なイノベーションと
成長分野への投資で
新しいビジネスを構築し、
収益を上げられる企業

売上高	4,000億円	税引前当期純利益	200億円

Chori Innovation Plan 2025 KPI

企業価値の向上に向けた目標

財務目標

	2026年3月期　計画
売上高	3,600億円
税引前当期純利益	160億円
親会社株主に帰属する当期純利益	110億円
ROA（当期純利益※1ベース）	7%以上
ROE（当期純利益※1ベース）	12%以上
ROIC※2	約10%

※1：親会社株主に帰属する当期純利益
※2：ROIC（投下資本利益率）＝税引後営業利益／（自己資本＋有利子負債）

非財務目標

- 環境等に配慮したSDGs商材の取り扱い拡大
- 総合職の採用人数、及び、総合職への職種転換の合計人数に占める女性割合：30%以上
- 男性社員の育児休業取得率の向上
- 管理職に占める女性の割合の向上
- 健康経営優良法人の認定継続
- DX（SAP導入）総投資額：約50億円

基本方針と基本戦略

基本戦略の推進 ⇒ 企業価値の向上

基本方針

高機能・高専門性を基盤として、
グローバルに進化・変化し続ける企業集団

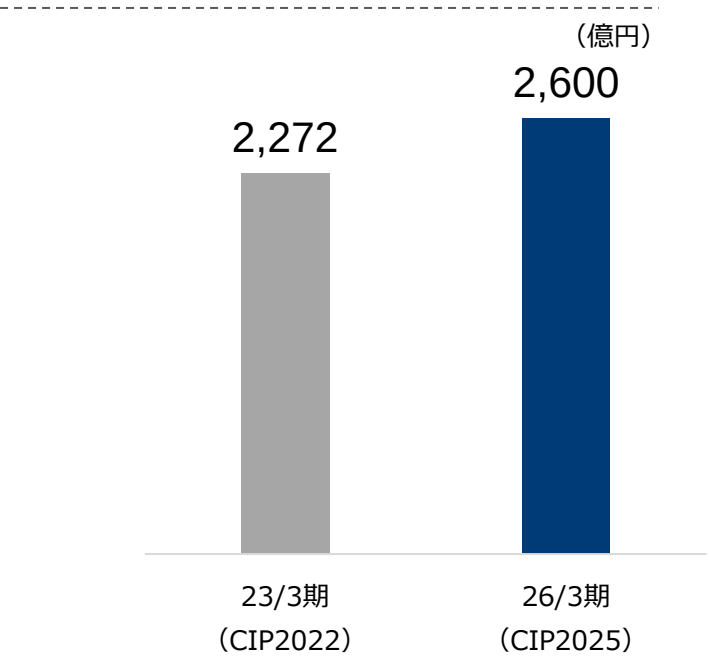
基本戦略 1	基本戦略 2	基本戦略 3
連結グローバル事業軸運営の推進	変化に即応したサステナブルなビジネスの創出	ESG経営の推進

DXによるビジネス変革・経営変革

海外事業の強化・拡大

＜主な戦略ポイント＞
- 主要海外拠点の運営基盤強化
- 事業ポートフォリオの見直し・ブラッシュアップ
- 海外収益力の強化
- グループシナジーによる専門集団としての一体運営

貿易取引高※



※貿易取引高：輸入売上高＋輸出売上高＋海外売上高

人的資本の投入・再配置

&

次世代商材の開発
既存商材の面の拡大

基本戦略２

変化に即応したサステナブルなビジネスの創出

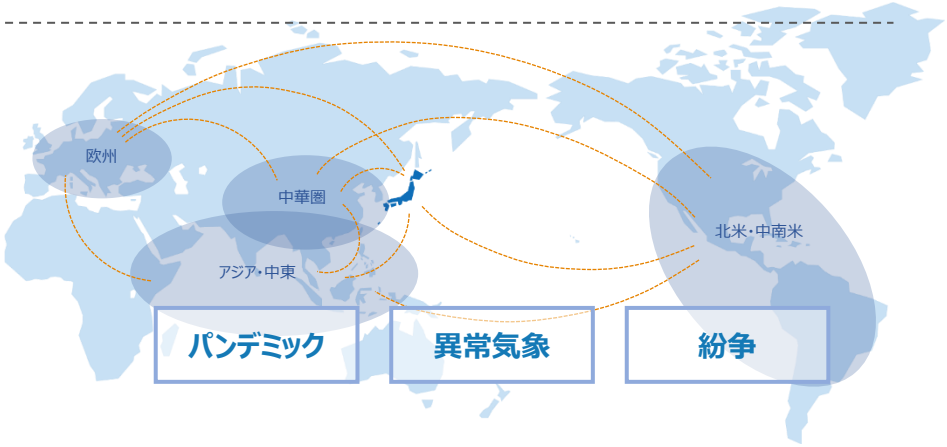
CHORI

VUCA※時代における、目まぐるしい変化への対応

※Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）

＜主な戦略ポイント＞
- 事業等のリスクを俯瞰的に捉え、機動的に対応
- 新規開発・事業投資
- M&A

グローバルサプライチェーンの多様化



多様化する顧客ニーズに合わせたサプライヤーの開拓

世界的な需給バランスの変化を好機に変える

成長分野・成長地域への積極的事業投資

＋α

成長分野：環境、健康・快適、グローバル

マーケットイン

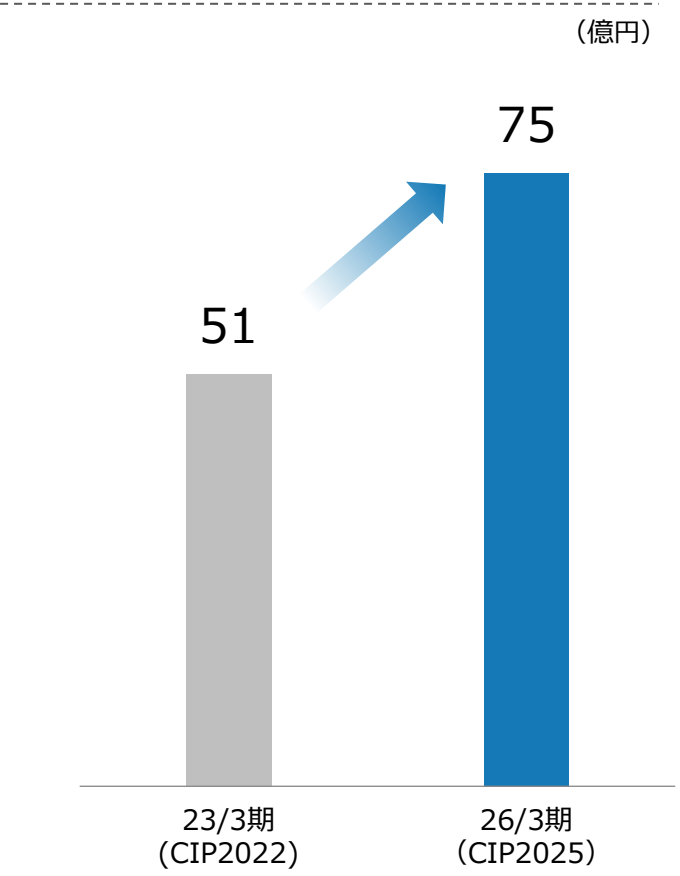
強化分野を事業投資・M&Aで補完

事業別戦略① 繊維

CHORI

GLOBAL ONE STOP CHORI の強みをさらに強化し、成長分野での事業拡大を推進

税金等調整前四半期純利益又は損失



＜事業戦略方針＞

●独自のビジネスモデルの強化
- ・Global One Stop Chori：川上から川下まで網羅できるサプライチェーンの展開
- ・半工半商の拡大：素材開発力・提案力の強化
- ・地方創生

●3分野（素材・製品・資材）での安定的な成長
- ・素材：原料（糸・綿）・テキスタイルの最適ポジショニングによる顧客対応
- ・製品：プロダクトアウトとマーケットインを融合し、商材と商流を進化
- ・資材：自動車・衛生材・建材市場の変化に対応した提案型営業

●成長分野（環境、健康・快適）での事業拡大
- ・環境：粗原料から製品まで合理的なサーキュラーエコノミーの構築
- ・健康・快適：繊維本部・事業内横断型のスポーツウェアプロジェクトを設置し、シナジーを発揮

●事業のさらなるグローバル拡大
- ・安定したサプライチェーンの構築、適地生産・適地販売を拡大
- ・中国から日本への部材販売、中国内需の取込み、高付加価値商材の活用
- ・東アジア各国での有力パートナー企業との協業による機能強化・販売拡大

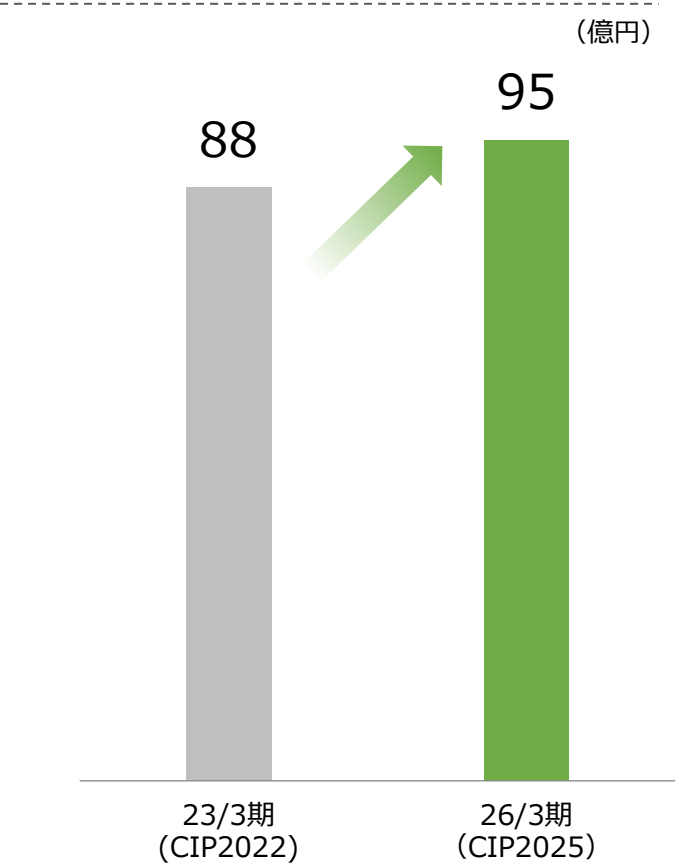
●高機能・高専門性の追求と差別化・競争力強化
- ・「BLUE CHAIN」のブランドマーケティング

事業別戦略② 化学品

CHORI

継続したイノベーションにより、新たなビジネスの構築を目指す

税金等調整前四半期純利益又は損失



＜事業戦略方針＞

●連結グローバル事業軸運営の推進

・新規ビジネスを創出する組織運営、人的資本の拡充・活用
・関連会社および海外拠点との協業深化

●高機能・高収益・環境配慮型ビジネスへの入替

・イニシアティブを取ることができる商材開発
・重要領域：①電子・電池・半導体材料・非鉄金属　②ヘルスケア
③フードマテリアル　④グリーンビジネス　⑤デジタル融合

●相場や景気に左右されにくい仕組み作り、商材領域の開発

・マーケット：新しい商材、顧客、市場、ニーズの開拓
・サプライチェーン：新しい原材料と新しい供給源の獲得
・組織：マーケット主導で、次の成長に合った新しい組織の実現

●中国・インド・東南アジア・韓国・南米との取組み強化

・駐在員の派遣、現地スタッフの増員

ESG経営の推進　E：環境

サステナブルで豊かな社会を実現し、社会と共生

気候変動

- 蝶理グループとして、2050年までにカーボンニュートラルを目指す
- TCFD提言に基づく施策を実施

カテゴリー	CIP2022実績	CIP2025新たな取組
ガバナンス	取締役会にて定期的に報告、議論	専門委員会にて、具体的取組施策を検討・推進
戦略	2℃未満、4℃シナリオで分析	1.5℃シナリオを含め、シナリオ分析をブラッシュアップ
リスク管理	気候変動に関するリスクを整理	グループ内浸透を推進・強化
指標と目標	2020年度排出量1,705(t-CO_2)（Scope1、2、3（カテゴリー6：出張、7：通勤））。排出量少量。定期的な点検継続	Scope1～3の実績算定継続、開示。2050年までにカーボンニュートラルを目指す

環境等により配慮した商材

- 廃ペットボトルのリサイクルポリエステル繊維「ECO BLUE」、生分解性樹脂などの環境等に配慮したSDGs商材の取り扱い拡大。2026年3月期売上高500億円（2023年3月期比2.5倍）を目指す
  ⇒サーキュラーエコノミーの実現に向けた取り組みを実施

ESG経営の推進　S：社会

ステークホルダーのウェルビーイングの実現

人材育成

ウェルビーイングの実現　＝　社員が働き甲斐を感じ、幸せになれる企業

❶ 人的資本投資
- 人を育て、人と育つ
- ダイバーシティ＆インクルージョン
- 採用力の強化

❷ エンゲージメント向上
- 働きがいの実現
- よく伝え・よく伝わるコミュニケーション
- より働きやすい環境整備

❸ 健康経営の推進

人権の尊重

- 定期的にCSR調達アンケートを実施
- ESGに配慮した企業との取組強化

→ **サステナブルなサプライチェーンの構築**

基本戦略３

ESG経営の推進　G：ガバナンス

CHORI

＜ガバナンス強化の変遷＞

2016年	2018年	2020年	2021年	2022年
監査機能の強化 監査等委員会 設置会社へ移行	**ダイバーシティの推進** 女性取締役の選任	**経営の透明性・公正性** ガバナンス委員会の設置	**ガバナンスの強化** 取締役会の 3分の1以上を 社外取締役で構成	**プライム市場へ移行** TCFD提言に基づく 施策の実施

governance	compliance	risk management
コーポレート・ガバナンス	コンプライアンス	リスクマネジメント
ガバナンス委員会による ガバナンス強化	企業倫理の向上と コンプライアンス違反ゼロに注力	リスクマネジメント力の強化
資本コストや株価を意識	内部通報制度の整備、 社内研修・サーベイの実施継続	リスクを体系化して管理、 リスク感度を強化
PBR向上のため株主・投資家との 対話を充実	製品安全・品質保証体制強化	新興国リスク・地政学リスクへの 対応強化

DXによるビジネス変革・経営変革

CHORI

DX戦略を推進「守り」と「攻め」

2022年4月 SAP導入プロジェクト：CARAT始動。2026年3月期～本格稼働

CARAT（カラット：全社業務変革プロジェクト）
Chori **A**ccelerate **R**enovation **A**chievement **T**ransformation

CIP2025

SAP導入・DX経営基盤構築
守りのDX

- 業務変革・業務標準化
- データドリブン経営・データ活用基盤構築
- DX人材育成・多様性

ポストCIP2025

SAP活用・企業価値向上
攻めのDX

- 変化に強いフレキシブルな経営の実現
- データ活用による営業競争力強化
- 事業モデルの改革

2024年3月期 第3四半期決算概要のポイント

CHORI

POINT

中期経営計画「Chori Innovation Plan 2025」の初年度を推進

・各段階利益は計画を上回る水準で進捗。

・当第3四半期における経常利益118億円、税金等調整前四半期純利益120億円、親会社株主に帰属する四半期純利益81億円は、3期連続で過去最高益を更新。

業績概要

- **前年同期比減収ながら採算性向上を主因に増益。**
- **繊維事業は利益が大幅に伸長。化学品事業も堅調。**

財務基盤

- **自己資本比率　54.4%　高水準を維持。**
- **ROE（当期純利益・年間ベース）　14.1%**
- **ROIC（年間ベース）　13.4%**

トピックス

- **全社業務変革プロジェクト（基幹システム（SAP）導入プロジェクト：通称CARAT）は、実装フェーズでのシステム開発を実行中、2026年3月期からの本格稼働に向け計画通り進捗。**
- **サステナビリティ推進準備委員会にて検討中のマテリアリティ候補や価値創造ストーリー等について、第三者（有識者及び機関投資家）面談を実施。**

2024年3月期 第3四半期業績内容（前年同期比）

CHORI

POINT

- 日本経済は、自動車を始めとした製造業の回復基調継続や新型コロナウイルス感染症の5類移行による経済活動正常化が進み、景気に回復の兆し。
- 世界経済は、中国経済の回復の遅れ、ロシアによるウクライナ侵攻長期化・中東情勢緊迫化等の地政学リスクの継続や原材料及びエネルギー価格の高止まり等により依然として先行き不透明な状況。
- 売上高は主に化学品事業の海外売上高の減少により減収も、各段階利益は繊維原料及び国内衣料関連の販売拡大、並びに収益性の改善により繊維事業が大幅に伸長し増益。

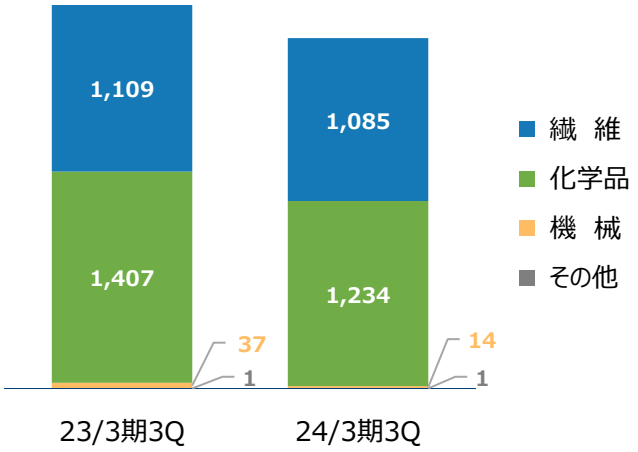
（単位：億円）	23/3期 3Q	24/3期 3Q	増減額	増減率
売上高	2,554	2,334	-220	-8.6%
売上総利益	285	296	+11	+3.8%
販売費及び一般管理費	176	177	+1	+0.5%
営業利益	109	119	+10	+9.2%
経常利益	110	118	+8	+7.2%
税金等調整前四半期純利益	114	120	+6	+4.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	75	81	+5	+6.9%

2024年3月期 第3四半期セグメント業績

CHORI

売上高

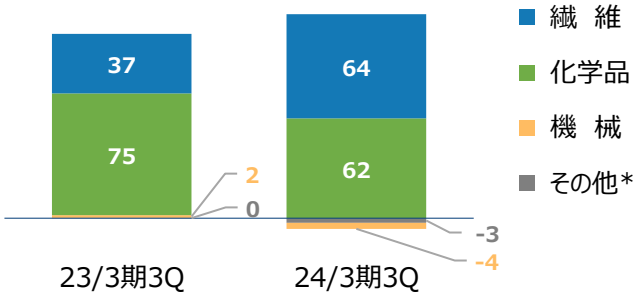
（単位：億円）



	23/3期 3Q	24/3期 3Q	増減額
繊 維	1,109	1,085	-24
化学品	1,407	1,234	-173
機 械	37	14	-23
その他	1	1	-0
合 計	2,554	2,334	-220

税金等調整前四半期純利益又は損失

（単位：億円）



	23/3期 3Q	24/3期 3Q	増減額
繊 維	37	64	+28
化学品	75	62	-14
機 械	2	-4	-5
その他*	0	-3	-3
合 計	114	120	+6

＊「その他」には調整額を含む。

繊 維 大幅増益

- **堅 調** 全般
- **拡 大** 繊維原料・国内衣料関連

化学品 減収減益

- **低 調** 全般的な需要減退・市況低迷
- **堅 調** ファインケミカル

機 械 減収・セグメント損失

- **損 失** 為替差損

2024年3月期業績予想

CHORI

POINT

- 化学品事業の減収推移等の業績動向を踏まえ、売上高は下方修正。
- 各段階利益については、通期予想進捗率80%超で進行しており、期初予想を据え置き。

（単位：億円）	24/3期 予想（4月28日発表）	24/3期 今回修正予想（1月31日発表）	増減	24/3期 3Q実績	24/3期 進捗率	23/3期 通期実績
売上高	3,400	3,100	-300	2,334	75.3%	3,294
営業利益	142	142	–	119	84.0%	127
経常利益	140	140	–	118	84.3%	124
税金等調整前当期純利益	140	140	–	120	85.4%	128
親会社株主に帰属する当期純利益	94	94	–	81	85.8%	81

4

株主還元

配当方針・配当推移

CHORI

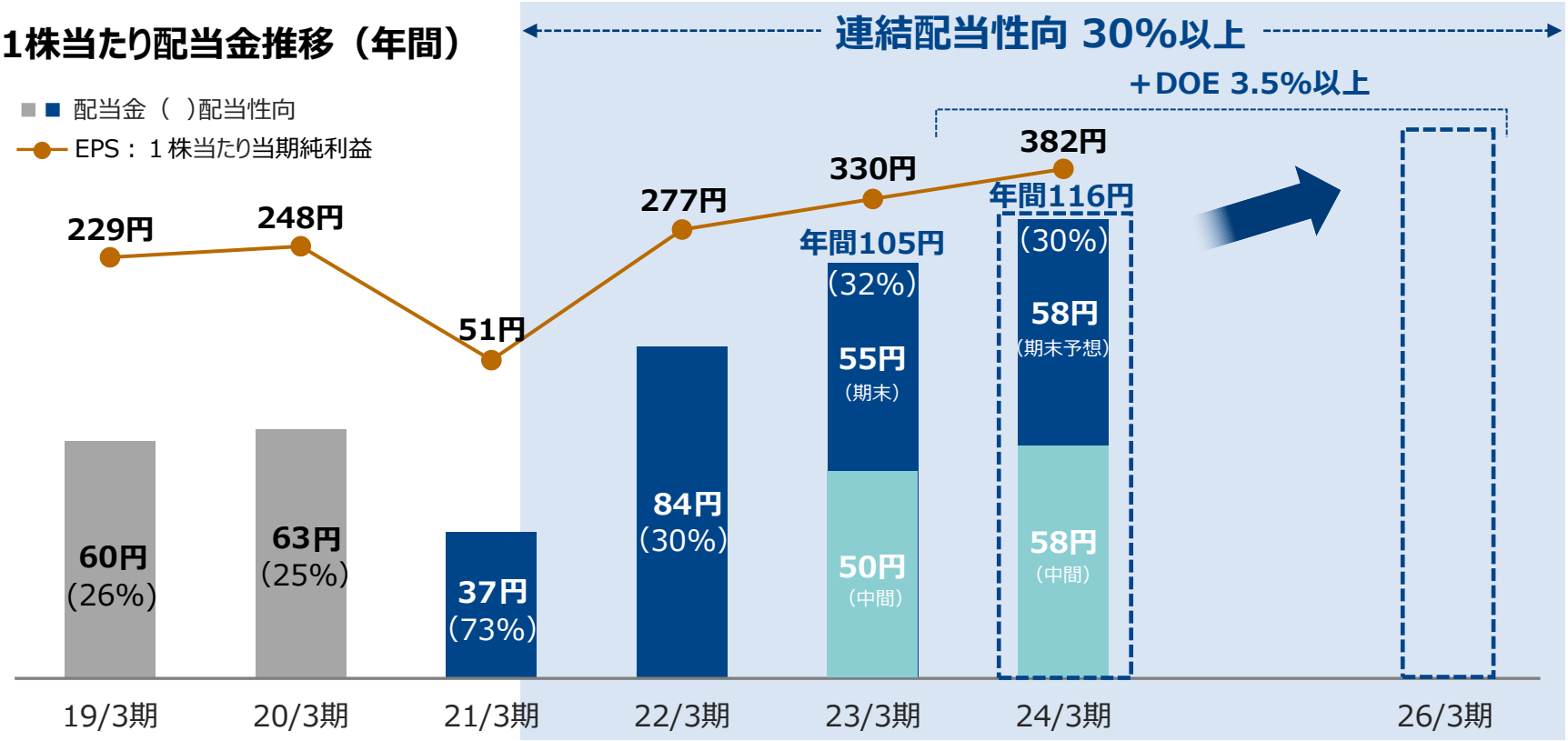
配当の基本方針

- 株主への利益還元を重要な経営課題の一つと位置付け、継続的・安定的な利益還元と経営・財務の安定性確保の観点から、親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じた業績連動型配当を実施。
- 配当方針：連結配当性向30%かつ株主資本配当率（DOE）3.5%以上（2024年3月期～）

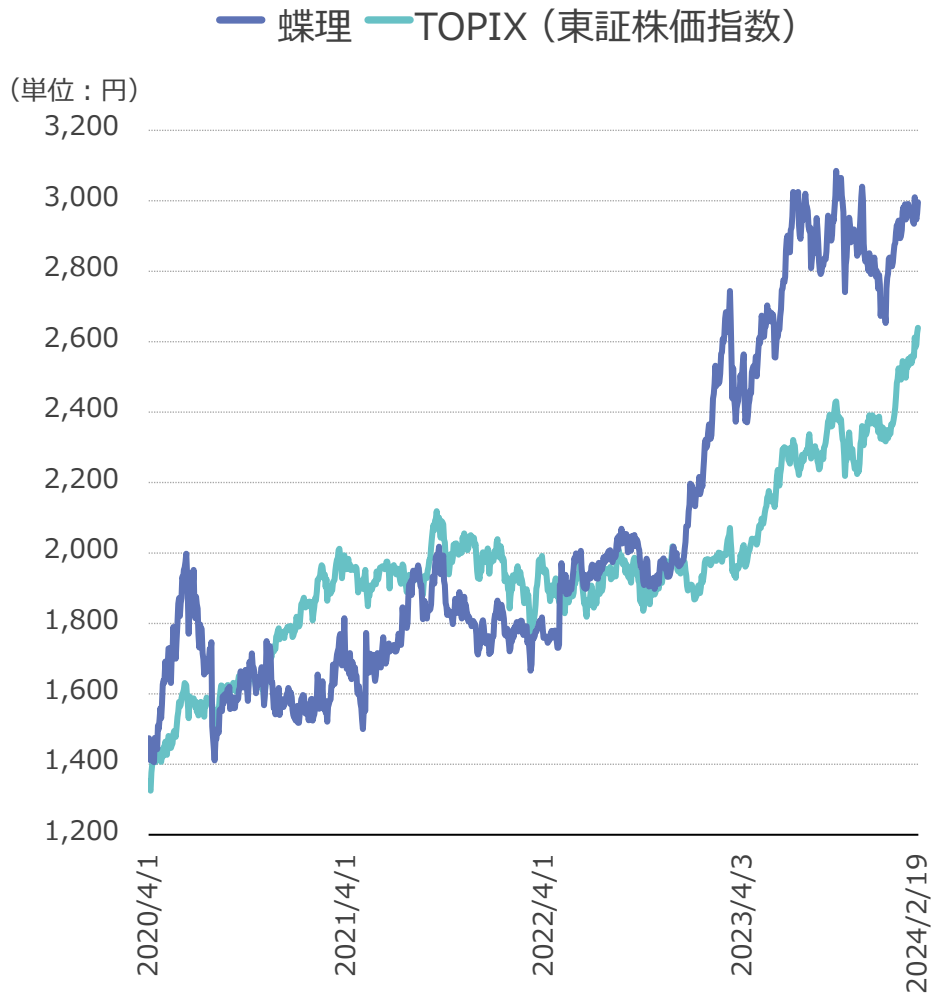
2024年3月期 年間配当予想

通期業績見通し及び上記配当方針に基づき、中間配当58円を実施。
年間配当は116円（期末配当58円）の見通し。

1株当たり配当金推移（年間）



当社株価推移



東京証券取引所	
株価（2/19終値）	**2,996円**
単元株	**100株**
最低購入代金（2/19現在）	**299,600円**
PER（2/19現在）	**6.9倍**
PBR（2/19現在）	**0.9倍**
時価総額（2/19現在）	**758億円**
配当利回り（2024年3月期予想）	**3.9%**

5

参考資料

東京ヴェルディとコーポレートパートナー契約締結

3点に共感し、コーポレートパートナー契約

①ミッション「世界で輝く人材を育成する」

複合型専門商社である蝶理もグローバルに事業を展開しており、人材が一番の資産。育成にも注力。

②中核的価値観「AMBITION－野心と大望を持って進む－ ロマンを持ってワクワクする大きな夢を描き、行動する」

蝶理のコーポレートスローガン「あなたの夢に挑戦します。」の価値観と通じる。

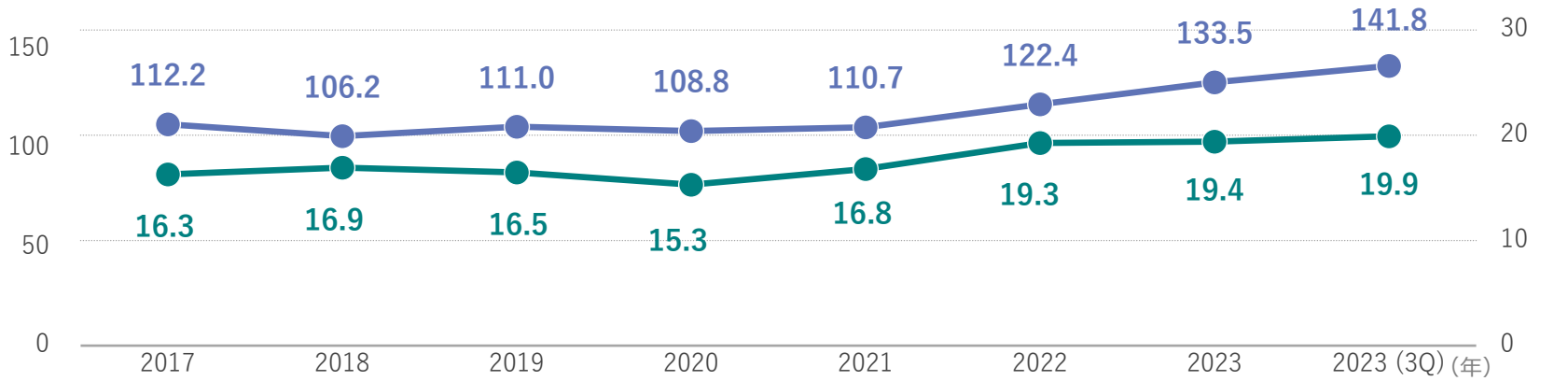
③あゆみ

160年を超える企業として蝶理が歩んだ苦難と躍進の歴史と、伝統あるサッカーチームである東京ヴェルディが苦難を乗り越え、16年ぶりにJ1リーグに復帰を果たした姿を重ね合わせ、共感。

市場動向

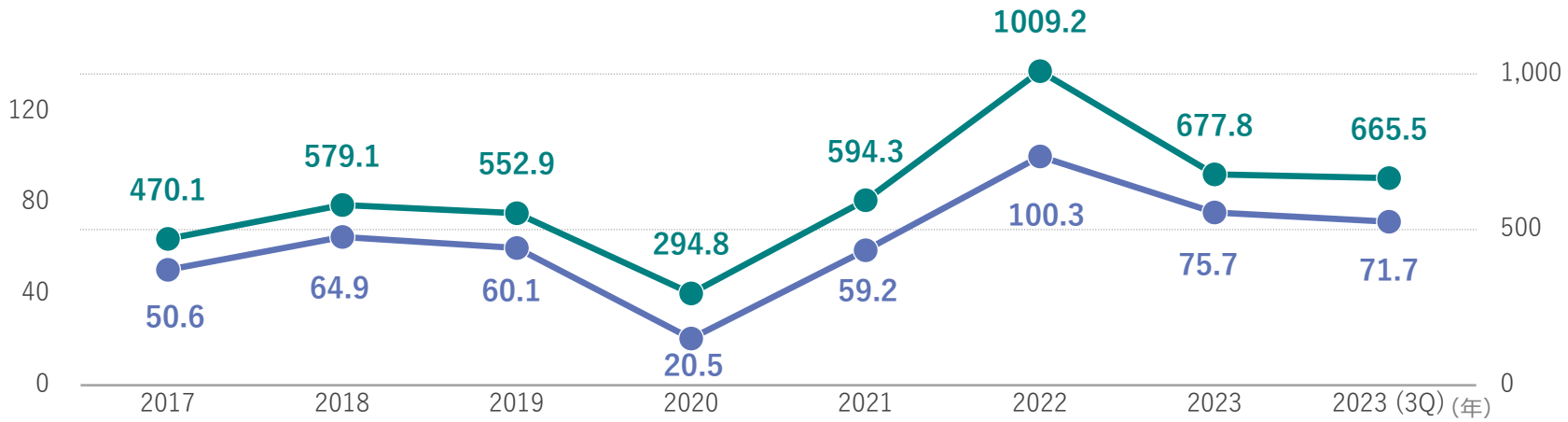
為替レート

（注）3月末時点　（単位：円）　●USD［左軸］●人民元［右軸］
出所 当社期末日レート



石油価格

（注）NY原油：3月末時点/単位：ドル／バレル、ナフサ：3月単月平均/単位：ドル／トン　●NY原油［左軸］●ナフサ（輸入）［右軸］
出所 当社調べ



連結の範囲（2024年3月期 第3四半期）

CHORI

2023年3月期	
子　会　社	32
持分法適用会社	9
合　計	41

2024年3月期 3Q	
子　会　社	31
持分法適用会社	9
合　計	40

増減 -1

主な子会社

社名	セグメント			備考
	繊維	化学品	機械	
㈱STX	●			21年6月　M&Aによる子会社化 22年１月　商号変更
㈱アサダユウ	●			17年7月　M&Aによる子会社化
ミヤコ化学㈱		●		15年3月　M&Aによる子会社化
蝶理GLEX㈱		●		13年3月　M&Aによる子会社化 18年10月 商号変更
㈱小桜商会		●		18年1月　M&Aによる子会社化
蝶理マシナリー㈱			●	17年4月　新設分割による分社化
CHORI AMERICA, INC.	●	●		初の海外法人
蝶理（中国）商業有限公司	●	●		最重要海外拠点
蝶理（大連）貿易有限公司	●			
CHORI CO., (HONG KONG) LTD.	●	●		
THAI CHORI CO., LTD.	●	●		ASEAN 主要拠点
PT. CHORI INDONESIA	●	●		ASEAN 主要拠点
CHORI VIETNAM CO., LTD.	●	●		ASEAN 主要拠点
CHORI COMERCIAL DE MEXICO, S.A. DE C.V.	●			中米拠点
台湾蝶理商業股份有限公司	●	●		
その他16社　計31社				

あなたの夢に挑戦します。

蝶理株式会社